

ここいろキッズ保育園における自己評価 令和6年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	保育方針、保育理念は全職員で共通理解を図り、一人一人の子どもの生活リズムを重視した生理的欲求が満たされる保育内容が考えられている。
保育について	子ども自ら興味を持ち、子どもの意欲を高めるような遊びの準備や英語レッスンに取り組み、子どもの発達、子どもの思いを大切にしたい保育ができる様努めた。異年齢児との関わりが多い中、それぞれの年齢の子ども達が学びや情緒の育みが見られる保育が出来た。
行事	子どもたちが楽しめる行事を計画し、子ども達の発達状況毎のねらいや取り組みを実施に生かしている。
研修	各種研修会については、研修内容を把握し作成された研修計画に素づいて参加できるようにしている。受講後は研修内容をレポートし、職員間で共有し実践に生かしている。
家庭・地域との連携	連絡帳にその日の子どもの様子を記入し、送迎時には子どもの姿を言葉で伝える事を心掛け、子どもの発達状況や保護者からも相談し易い環境づくりに務めた。
安全対策	感染防止対策のため、使用後の玩具や保育室の子ども達が触れる全ての箇所の消毒を徹底した。ヒヤリハットの収集またはその内容の周知により、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。
情報発信	月末にはクラス便りですその月の活動報告、月初にはその月の活動予定を保護者に分かり易い様お知らせをした。月毎、行事毎のブログ更新や写真販売にて園での活動、行事の様子を観覧できるようにし、日々の保育の様子を保護者の方に伝わるよう努めた。
情報保護	園児、保護者に関する情報は守秘義務とプライバシー保護の観点で全職員に周知し、個人情報については施錠できる場所に保管し適切に取り扱っている。
調理内容	アレルギー対応食について、栄養士、担当職員、保護者の間で共通意識をもって対応ができている。子どもの喫食状況についても栄養士、職員間で周知している。イベント時には特別食を提供し、みんなで楽しく食することで苦手意識が軽減するよう促した。
健康管理	子どもの登園後、体調やいつもと違うところがないかよく視診した。感染症発症時は職員間で連携をとって速やかに周知し、保護者の方にも留意してもらえるよう掲示板を玄関先に貼り出すなどした。
事務管理	保育と運営関係の書類を色分け、ファイリングしている。会社運営と情報共有出来るシステムの導入により、必要なデータの送受信が迅速になった。